

消化器内科この一年

消化器内科医長 齊藤 裕樹

はじめに

平成19年度もただ日常の臨床業務に追われているだけで、倦怠感、疲弊感が積もっている今日この頃である。

異動について

平成19年3月から4月にかけて、小林が大学に戻り、岩本が研修医から当科スタッフとなった。また6月から7月にかけて、玉木が大学に戻り、その後任として高橋が赴任している。何とか消化器内科5人体制は維持されている。

御礼

研修医の先生方にはたいしたことは教えてあげられなく、申し訳ないけど、現在の当科の診療は研修医なしでは進まないの、大変感謝している。

おわりに

毎年書いているが、疲労を強く感じている今日この頃、逃げ出したい気持ちは変わらない。去年の自分の文章を読み直すと確かに遺書と思われても仕方ないと思うが、決してそのつもりはない。

以下当科の平成19年1月から12月までの検査件数を挙げる。

- 上部消化管内視鏡：1994件
- 上部治療内視鏡：82件
- 下部消化管内視鏡：1197件
- 内視鏡的大腸腫瘍切除術：135件
- 内視鏡的逆行性胆管膵管造影
(碎石術、ドレナージ術を含む)：179件
- 胃瘻(造設+交換)：37件
- 経皮経肝胆管ドレナージ(含交換)：26件
- 経皮経肝胆嚢ドレナージ(含交換)：27件
- 超音波内視鏡検査：100件
- 腹部血管造影(含治療)：32件